

# 亀山東小だより

令和7年2月21日(金)  
亀山市立亀山東小学校  
亀山市本町一丁目9番9号  
TEL:82-0011 No.12  
(文責:校長 加藤 元由)

## 子どもたちの元気な姿

「最強寒波」の次は「最長寒波」などと呼ばれているようですが、現在、確かに寒い日が続いています。積雪もみられ、登下校の状況が心配ではあったものの、幸い、亀山東小学校では、始業を遅らせる措置をとることなく、通常授業を実施することができました。

子どもたちは、寒い時期であっても、元気に遊び、体を動かしています。それは、とても良いことだと思います。

2月5日(水) PTA 行事「ハンター逃走中」では、PTA 役員や協力いただいた保護者の方々がハンターに扮して児童を追いかける大規模なおにごっこを行いました。子どもたちと大人が本気で綱引きや玉入れ対決をするなど楽しい時間となりました。また、2月12日(水) 児童会による企画「校内かくれんぼ」では、児童会役員が考えた「安全のためのルール」を守りつつ、全校で楽しむことができました。かくれんぼ実施前から、中央廊下に貼りだされた「手配写真」を見て、わくわくしている子たちの姿があり、「さすがは児童会、盛り上げが上手だなあ」と感心しました。

もちろん、体を動かすばかりではなく、「亀山東小トリエンナーレ」として、4年生児童によるアート作品を展示したり、「亀山市小中書写展」の校内展示をしたりと、感性に訴える取り組みも進めています。

これから、6年生は卒業式へ向けて、1～5年生は「6年生を送る会」へ向けて、準備や練習が進められていきます。保護者の皆さま、地域の皆さまとともに、6年生が巣立ちのときを見守っていければ幸いです。

\* 「校内かくれんぼ」を楽しむ児童の姿です。→  
わくわく、ドキドキが伝わってきます。



\* 「亀山東小トリエンナーレ」の展示の様子 ↓

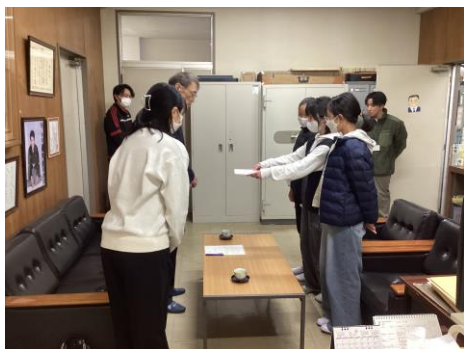


## お詫びと訂正

『亀山東小だより』第11号（前号）の「亀山市」の記事におきまして、売上金を昨年度の金額で記載してしまいました。たいへん、申し訳ございませんでした。ここに、お詫びして訂正させていただきます。

亀山市売上金総額（あらかじめ能登半島義援金として募った金額は除く）

誤：120,305円 → 正：98,460円



また、2月13日（木）付けで、日本赤十字社三重県支部を通じまして、「令和6年度 能登半島地震災害義援金」として、9,278円を寄附させていただきました。報告させていただきます。児童の呼びかけに応え、ご協力いただいた方々、ありがとうございました。

←

\*亀山市社会福祉協議会を窓口として、日本赤十字社三重県支部に義援金の寄附をさせていただいた際の写真です。

## 話を聞くこと

年度末が近づき、今年度の取り組みにつきまして、さまざまな形で「ふりかえり」をおこなっています。そのひとつとして、「児童につけることができた力」という観点で、職員研修の「ふりかえり」をしました。

そこで、大きく取り上げられたのが、「話を聞くこと」と「伝えること」です。低学年でも、「きらきら聞き方」というキーワードで呼びかけると、話し手のほうを向き、姿勢を正し、手に何も持たないで話を聞こうとする姿勢が育っていることは、とても素晴らしいことだと捉えています。今後は、呼びかけなくても自分の判断で聞く姿勢を整えられることや、学年の発達段階に応じて、うなずきながら聞けたり、話をささげずに最後までじっくり聞けたり、気になったことを質問できたりといった力をつけていきたいと考えています。

ご家庭や地域でも、「ここはひとつ、子どもにしっかり集中して聞かせる場面だ」というような折がございましたら、お子様が「どういう態度で聞いているか」に注目してご指導いただけると、たいへんありがたいです。

また、亀山東小学校では、「伝える力」も大切であると捉えています。子どもたちが、何かを他人に説明し、伝えようとするとき、筋道立てて伝えることができるよう、力をつけさせたいと考えています。「たとえば～」などのワードを用いて説明できたら、もっとコミュニケーション能力を伸ばせるであろうと考えます。さらに、文章で伝える力、という形でも、「伝える力」を伸ばしていきたいです。



亀山東小学校のホームページでは、日々の子どもたちの教育活動や学校の様子を随時更新中です。ご覧いただけると幸いです。 <http://www.kameyama-mie.jp/kblog/higashi/>

